

1. 概況

大統領選挙を控え、経済面では目立った動きは見られなかった。凍結されていた定期預金の凍結解除が実施されたが、実際に銀行から引き出された預金は少なく、為替市場ではドル価の下落傾向が続いた。新政権発足後への楽観的な見通しから、メルバル指数や債券価格が上昇する一方、インフレも落ち着いており、経済は小康状態が続いている。

2. 経済の主な動き

(1) 国際金融機関との関係

10日よりIMF・世銀総会に出席するため、ラバーニャ経済相がニールセン金融庁長官及びプラット・ガイ中銀総裁とともにワシントンを訪れ、IMFや世銀幹部、テラ一米財務次官等と会談した。ラバーニャ経済相は世銀に対し、擬似通貨回収等への新規融資500百万ドルを早期に実施するよう要請した。また、プラット・ガイ中銀総裁は為替市場への介入によって通貨発行が増大していることから、IMFに対して、通貨発行上限額の引き上げを求めた。

1月にIMFと合意されたプログラムについて、第2回目のレビューを行うため、30日よりIMFミッションが訪米した。また、これまでミッションの一員として度々訪米していたIMF西半球局次長John Dodsworthが、亜駐在事務所代表に就くことが発表された。

(2) 擬似通貨の回収

経済省は、州政府が独自に発行している擬似通貨を回収するため、擬似通貨回収プログラムを策定し、各州政府の参加を要請した。右プログラムによれば、公務員給与及び年金として支払われた擬似通貨は額面1=1ペソとして回収されるが、その他の分については入札により市場価格で回収が行われる。4月末時点で、コルドバ州、フォルモッサ州、トゥクマン州、エントレリオス州が回収に合意している。政府は、擬似通貨回収の財源として債券(Boden債)を発行し、中銀が右債券を引き受ける法案を議会に提出した。擬似通貨の流通残高は、連邦政府が発行しているレコップ債を含めると、約7,500百万ペソに上っている。なお、擬似通貨の回収はIMFからの要求事項でもある。

(3) 凍結された定期預金(コロン)の凍結解除

23日が預金者の選択期限であった凍結された定期預金(コロン)の凍結解除は、対象である預金全体の約34%にあたる5,653百万ペソが凍結解除を選択された。銀行は預金者が銀行内に預金を留めるよう、定期預金の金利を軒並み引き上げることで対応した。一方、庇護判決(amparo)を通じてあくまでドルでの預金返金を求める預金者は、今回の凍結解除には応じなかった。経済省は凍結解除を選択した預金者が当初の予想よりも少なか

ったことから、選択期限を1ヶ月延長することとした。

3. 経済指標の動向

(1) 金融

コロンビアの凍結解除は、為替市場に大きな影響を与えず、ドル価は下落を続け、1ドル＝3ペソを割り込んだ。中銀は為替市場への介入で外貨準備を増やしている。また、新政権発足後への楽観的な見通しから、株価指数であるメルバル指数や債券価格が軒並み上昇を記録した。

(2) 税収

4月の税収は5,456百万ペソで、対前年同月比で89.2%と大幅な増加が続いている。主に付加価値税、輸出税、所得税の税収増による。ラバーニャ経済相は税収増について、「インフレによる影響は20%にすぎず、残りの80%は実体経済の成長によるもの」と説明した。一方、サルギーニ財務長官は、5月の税収は6,000百万ペソを超えるとの見通しを示した。また、州政府の税収も順調に増加している。

(3) 産業動向

(イ) 小売(3月)

スーパーマーケット売上高は対前年同月比14.4%の増加、ショッピングセンター売上高は同41.3%の増加となった。売上数量で見ると、スーパーマーケットの売上は大幅な減少が続いている。一方、ペソが上昇し海外からの観光客の増加が鈍ったことから、ショッピングセンターの売上増加に歯止めがかかっている。

(ロ) 建設活動指数(3月)

建設活動指数は、対前年同月比では28.1%の増加となった一方、対前年比では0.7%の減少となった。トレンドとしては、2002年半ばからの回復傾向が続いている。

(ハ) 工業生産指数(3月)

工業生産指数(EMI)は、対前月比で1.6%の増加、対前年同月比では21.4%の増加となった。工業生産も全体的に回復してきており、特に繊維業界の回復が著しい。

(4) 物価

消費者物価指数は対前月比0.1%の上昇、1月からの累計で2.5%の上昇と、いずれも低い水準に留まっている。一方、ドル価の下落傾向を反映して、輸入卸売物価指数は対前月比3.6%の減少、卸売物価指数も同1.9%の減少となった。

(5) 雇用(3月)

労働省の発表によるブエノスアイレス圏、コルドバ圏、ロサリオ圏の雇用状況をみると、雇用水準は低い水準でほぼ横ばいの状態が続いている。

(6) 貿易収支(3月)

3月の貿易収支は、12.9億ドルと大幅な黒字が続いている。輸出は対前年同月比5%の増加、輸入も同56%の増加となった。